

言葉の力・生きる力（02 / 02 / 23）

◎「言葉の力は生きる力」であると考えようになった時がありました。言葉には、うそをつけない自分の姿が表れるからです。

言葉の力がある子は、少しのことで自分を乱しません。いま、自分が、どうしたらいいか考える力を持っているからです。「この子に言葉の力があったら」と思うことがありました。学校という場は、「言葉の力」を育てる「国語」の時間があります。

◎「国語」を「言葉の力」を育てると真面目に考えると、国語を勉強する場は、授業だけでないことは自明です。「自明」とあえて使いました。初めは「気がつく」でしたが、だんだん、学校の日常が大事と思えるようになったのです。

学校は、教育の場です。言葉の力はいろいろなところで働いています。例えば、日常で、「遊ぼう」と誘います。だまって、誘われて遊びの仲間に入る子がいます。微笑ましい風景です。しかし、視点をかえて、言葉の力という面で考えると、「ありがとう」「仲間に入れてくれるの。うれしい」という言葉が使えたら、さらに微笑ましい風景が広がります。

ですから、学校全体を言葉の教育と考えるといいなと思ったのです。